

ほっとサロン虹

通信

2024.7.19

ほっとサロン虹は、がん患者さんやご家族の皆様が病気や暮らしなど
気になること、相談したいことなど、お話ができる場です。

テーマ：臨床宗教師とは

～医療に関わる宗教者～

講師：臨床宗教師

ますの とういん
榊野 統胤

今回は、臨床宗教師として活躍されている榊野統胤さんを
講師にお招きして「臨床宗教師とは～医療に関わる宗教者～」
をテーマにお話しいただきました。

記：医師事務作業補助者
河本 百合子

臨床宗教師とは、被災地や医療施設、福祉施設などの
公共空間で心のケアをする宗教者です。

臨床宗教師は、布教、伝導や勧誘はしません。相手の
価値観を尊重しながら、宗教者としての経験をいかして、
苦悩や悲嘆を抱える方々に寄り添うことをしています。
東日本大震災で被災者のケアにあたった医師が欧米の聖
職者チャプレンをモデルに考案され、東北大学で養成講
座がはじまりました。今では他の大学でも養成が行われ
ています。

欧米ではチャペルが警察や消防、学校などの公共の場
にあり、そこに従事するチャプレンがいます。日本版のチャ
プレンを目指して病院で行うスピリチュアルケアは、相手
の方の世界に入りお話を伺って伴走するイメージで行わ
れているそうです。

榊野さんの活動の現場は、病院や福祉施設、被災
地などになっています。ある病院の緩和ケア病棟で
は、主に患者さんやご家族、時にはスタッフの悩み
苦しみについて、日常会話、世間話など様々なお話
を通して聞くということをするそうです。当院の
がんサロンにも来ていただいております、スタッフ的な

役割もされるなかで、時には輪に参加し、時には個
人としてお話を聞かせていただいております。

今回のがんサロンには、がんを経験されたサバイ
バーの方や医療関係者の方など多くの方にご参加いた
だきました。皆さんが日頃から迷われていることや、
悩まれていることをみんなで話し合いをしました。
そのなかで印象に残ったことは、榊野さんが相手に
かける言葉を考えるときは『自分が楽になるためにか
ける言葉にならないように』を念頭において言葉を選
ばれているという言葉でした。その場にあった言葉
がなかなか思いつかなかったりして難しいですが、
相手の立場になって考えていくことが大事だなと感
じました。榊野さんとお話すると気持ちが楽になる
ような気がする理由が少しわかった気がしました。

榊野さんは毎回当院のがんサロンへ来られます
ので、お話されてみたいかは是非がんサロンへ
お立ち寄りいただけ
ればと思います。

